

# 教 員 業 績

フリガナ	ムラヤマ サダユキ				
氏 名	村山 貞幸				
学 歴					
年 月	事 項				
昭和 59(1984) 年 3 月	慶應義塾大学経済学部卒業				
平成 1(1989) 年 4 月	慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学				
平成 3(1991) 年 3 月	慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了				
平成 3(1991) 年 4 月	慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学				
平成 6(1994) 年 3 月	慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程単位取得退学				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和 59(1984) 年 4 月	株式会社電通 (平成 1(1989) 年 3 月まで)				
平成 5(1993) 年 8 月	テキサス大学オースティン校訪問研究員 (平成 6(1994) 年 6 月まで)				
平成 7(1995) 年 4 月	流通科学大学商学部専任講師 (平成 15(2003) 年 3 月まで)				
平成 15(2003) 年 4 月	日本福祉大学福祉経営学部 助教授 (平成 19(2007) 年 3 月まで)				
平成 18 年(2006 年) 4 月	グロービス経営大学院大学 経営研究科 客員教授 (2012 年 3 月まで)				
平成 19(2007) 年 4 月	多摩大学経営情報学部 教授 (現在に至る)				
平成 24 年(2012 年) 4 月	事業構想大学院大学事業構想研究科 客員教授 (平成 28(2016) 年 3 月まで)				
平成 25 年(2013 年) 4 月	一般財団法人 日本のこころ アドバイザリーボードメンバー (現在に至る)				
平成 28 年(2016 年) 4 月	事業構想大学院大学事業構想研究科 特任教授 (現在に至る)				
平成 29 年(2017 年) 4 月	社会情報大学院大学広報・情報研究科 客員教授 (2019 年 3 月まで)				
平成 30 年(2018 年) 4 月	一般社団法人 社会人基礎力協議会 代表理事				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					

現在所属している学会	日本商業学会 日本消費者行動研究学会 日本マーケティング学会
年　月	事　　項
	なし
	賞　　罰
年　月	事　　項
	なし

研究分野		研究内容のキーワード		
商学		マーケティング		
教育上の能力に関する事項				
事 項		年 月 日	概 要	
ケース・スタディ 平成12年～現在に至る		2000年～現在	社会人を対象に、ケースディスカッションを実施。1,000ケース以上をファシリテーション。受講生は、のべ1万人を超える。受講生評価5点満点の4.5以上。	
インタラクティブ・レクチャー 平成12年～現在に至る。		2000年～現在	一方向のレクチャーではなく、ディスカッションを通じて理論フレームワークを理解し実践応用力をつける教育方法。社会人向けに600時間以上指導。受講生評価5点満点で4.5以上。	
商品企画 平成10年～15年		1998年～2003年	カード企画会社イソップ社、エースコックなどの新商品企画。企業から商品開発担当者を招き、通年でコミュニケーションをとりながら商品企画を実体験。役員に対するプレゼンテーションを実施。	
ビジネスプラン・コンテスト（企画・実行委員）平成15年～18年		2003年～2006年	学部をあげてのイベント。毎年末に全授業を休講にして実行。最終審査には金融機関、ベンチャー企業の社長を審査員に加え、学生起業への可能性をサポート。（担当ゼミ2004年初参加依頼2年連続トップ成績。）	
イベント企画・運営		2008年9月～現在	幼稚園、保育園、児童館、高齢者施設などを訪問して行うイベント、そして、寺、神社、イベントスペースなどで行う集客型イベントの企画・運営を行う。	
職務上の実績に関する事項				
事 項		年 月 日	概 要	
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の 年 月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概要
(著書)				
顧客ロイヤルティの時代	共著	2004年3月	同文館	非健常者の顧客満足を追求する理念型経営の重要性を明らかにしたケース研究。第5章『「かかわり」による顧客ロイヤルティの獲得』84-93ページ 嶋口充輝、内田和成編著

仕組み革新の時代	共著	2004年3月	有斐閣	企業と顧客が協力して創造するコミュニティ型マーケティングを提案したケース研究。第2章『コミュニティ型ビジネスの可能性』35-56ページ 嶋口充輝編
新版 MBA マーケティング	共著	2005年3月	ダイヤモンド社	事例を重視したマーケティングテキスト。主に価格戦略、流通戦略、製品戦略を担当。グロービス・マネジメント・インスティテュート編著
高齢者 介護・シルバー事業企画マニュアル最新版	共著	2006年3月	エクスナレッジ	介護保険改正後の高齢者市場およびビジネスの動向を中長期的に予測。第1章1.1.2『シニア～シルバーサービス市場の捉え方』16-21ページ 大内俊一ほか
1からの戦略論	共著	2009年9月	碩学舎	事例を重視した経営戦略およびマーケティングのテキスト。第4章『基本戦略』57-73ページ 嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎編著
マーケティング科学の方法	共著	2009年4月	白桃書房	マーケティング研究の方法論に関する、解釈学アプローチおよび、その中の解釈主具アプローチのレビュー論文。1-2『解釈主義アプローチ』嶋口充輝、余田拓郎、川又啓子、黒岩健一郎編
顧客ロイヤルティ戦略 ケースブック	共著	2015年3月	同文館出版	急成長を続ける飲食店の顧客ロイヤルティ獲得を分析したケース研究。第4章『「受動的のかかわり」による顧客ロイヤルティの獲得』76-88ページ。 内田和成、余田拓郎、黒岩健一郎編
1からの戦略論（第2班）	共著	2016年3月	碩学舎	しまむらの事例を中心に、経験曲線、規模の経済性を理解したうえで差別化戦略、コストリーダーシップ戦略も含めた基本戦略の全体を理解するよう解説。第3章『基本戦略』51-67ページ。嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎編著
著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の 年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
飲食店の競争戦略 (修士論文)	単著	1991年3月	慶應義塾大学経営 管理研究科	さまざまな要素の中で、消費状況(飲食シーン)が飲食店の競争優位性に最も大きな影響を与えることを明らかにした実証研究。

ストア・イメージ形成過程における整合性の影響	単著	1994年月	慶應経営論集 第12巻 第1号	ストアイメージを形成するためには、各要素間の整合性が重要であることを明らかにした理論研究。
市場ニーズの変化と企業対応	単著	1996年月	流通科学 10号	変化の速い市場ニーズへの企業対応を提案した理論研究。
医療におけるナラティヴ・アプローチ	単著	2007年3月	慶應経営論集第24巻第1号	1980年代より医療において、その有効性から徐々に存在感を高め、特に心理療法においては1つの派を形成するに至ったナラティヴ・アプローチの、医療全般における有効性を検討。嶋口(1994)の問題状況マトリクスを動的に用いて医療プロセスの重視ポイントを考察、さらに同アプローチのベースとなる考え方を提起する。
戦略的意味生成メカニズムに関する基本的考察	単著	2007年3月	現代と文化第115号	消費における意味の生成(消費が新しい意味を獲得すること)のメカニズムを、1970年代から80年代にかけて流行した「ニュートラ・ファッショング」のケースを解釈することを通じて検討、それを戦略的視点で読み替えることで、戦略的意味生成についての示唆を提示。
日本におけるソーシャルビジネスの現状と課題	単著	2017年	多摩大学研究紀要 「経営情報研究」、No. 21	日本におけるソーシャルビジネスの現状と課題を整理。その課題の中で資金調達に焦点を絞り、近年増加している借入を追加した上で内外環境に整合的なポートフォリオで柔軟に対応することの重要性を指摘した。さらに軽視される傾向にある助成金獲得の有効な方法を提示した。
著書、学術論文等の名称	著者別 単共の	発行又は 発表の 年 月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
(その他)				
顧客満足の研究－サービス業編－	共著	1993年月	日経産業消費 研究所	CSの影響要因に関する実証研究。
組織購買行動論	単著	年月	マーケティング・ジャーナル Vol. 114 No. 1	組織購買行動論に関するテーマ書評
ユーザブル マーケティングに関する調査報告書	共著	1995年月	系ネットワーク	アフターマーケティングに関する理論研究。
シニアライフ研究－シニアの生活実態および生活心理－	共著	2002年月	フジタ未来経営研究所 Working Paper No. 5	高齢者のインタビュー調査、定量調査に基づくシニア市場の分析。

シニアライフ研究－シニアを対象としたビジネスのあり方－	共著	2002年月	フジタ未来経営研究所 Working PaperNo. 6	シニア市場分析をベースにした企業対応の理論研究。
書評：嶋 口 充 輝箸「マーケティング・パラダイム」（有斐閣 2000年）	単著	2003年月	GMR 第1巻第4号 ダイヤモンド社	マーケティング戦略を中心とした用語を著者独自の視点で解説した書籍の解説。
書評：クロード・レヴィ=ストロース著「野生の思考」（みすず書房 1962年）	単著	2017年5月	月刊事業構想 6月号 事業構想大学院大学	思想史に大きな影響を与えた書籍。その全体的視点やエコロジカルな社会的視点を持つ特性から、事業構想立案に重要な役割を担う思考法として紹介。
ゼミ「日本大好きプロジェクト」活動報告	単著	2015	多摩大学研究紀要「経営情報研究」、No. 19	イベントを通じた日本伝統文化伝承活動「日本大好きプロジェクト」の概要と、教育的意味、教育成果の報告。
ゼミ「日本大好きプロジェクト」活動報告－増上寺イベント－	単著	2016年	多摩大学研究紀要「経営情報研究」、No. 20	増上寺の七夕和紙キャンドルナイトを企画・運営。一般にほとんどの七夕イベントは織姫・彦星の出会いの喜びにスポットを当てる傾向にあるが、その中で会えない日々の悲しみを和紙キャンドルで表現した。